

平成30年6月6日
白島石油備蓄株式会社

白島国家石油備蓄基地における作業員の負傷について

白島石油備蓄株式会社（代表取締役社長 安藤文晴）が独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構から操業受託している白島国家石油備蓄基地におきまして、平成 30 年 6 月 5 日（火）午前 9 時 53 分頃、弊社北九州事業所の協力会社作業員（23 才男性）が電動カッターを用いて防災シートを裁断中、左手人差し指を負傷（切創）しました。

同作業員は病院での診察の結果、左手人差し指開放骨折と判明し、約 2 ヶ月の加療が必要との診断を受けました。

原因究明等、詳しい状況につきましては、現在調査中ですが、基地内でこのような事故が発生しましたことを真摯に受け止め、今後、事故の再発防止に向けて万全の対策を講じてまいります。

記

1. 発生日時

平成 30 年 6 月 5 日（火） 午前 9 時 53 分頃

2. 発生場所

白島国家石油備蓄基地（福岡県北九州市若松区大字安屋字白島）構内

3. 発生概要

上記日時、同基地構内の倉庫において、協力会社作業員（23 才男性）が電動カッターを用いて防災シートの裁断中、左手人差し指を負傷（切創）したものの。

以上